

令和 8（2026）年度

法曹養成プログラム修了予定者を対象とする
金沢大学法科大学院特別選抜

学生募集要項

（注意）

出願する入学者選抜に関する全ての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

自然災害、感染症等に関する本学法科大学院入学試験における対応

今後の状況の変化により、急遽、試験日程、選考方法も含めて変更等が生じる場合があります。
その場合は、法科大学院 Web サイト(<https://knzwl.s.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/>)で通知します。



金沢大学大学院法学研究科法務専攻

〒920-1192 金沢市角間町^{かくままち}

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）

電 話：076-264-5600

F A X：076-234-4167

E-mail：n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

■ 出願から入学までの日程

出 願 期 間	令和7（2025）年10月1日(水)～ 10月7日(火) 17:00 ※Web出願システムは、令和7年9月24日(水)9時から事前登録可 ※出願手続は、Web出願システムにより行います。Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは完了しません。出願期間内に、出願書類の提出を済ませ、内容に不備がなかった場合に、出願完了します。
受 験 票 印 刷 可 能 日	令和7（2025）年10月10日(金)～
試 験 期 日	令和7（2025）年10月18日(土)
合 格 者 発 表	令和7（2025）年11月6日(木) 16:00（予定）
入学意思確認届提出期限	令和7（2025）年11月20日(木)
入 学 手 続	令和8（2026）年1月5日(月)～1月15日(木)
入 学	令和8（2026）年4月

目 次

I 法科大学院（法曹養成プログラム修了予定者を対象とする特別選抜）

1	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	I-1
2	募集人員	I-2
3	出願資格	I-2
4	出願手続	I-2
5	試験日程，選抜方法及び場所	I-3
6	心身に障がいがある志願者等の事前相談	I-4
7	合格者発表	I-4
8	入学手続	I-4
9	入学料及び授業料	I-4
10	追加合格	I-4

II 共通事項

1	出願手続	II-1
2	受験票の印刷	II-3
3	受験における注意事項	II-3
4	入学手続	II-4
5	授業料等納付金	II-4
6	その他	II-6
7	個人情報の保護	II-9
8	問合せ先	II-9

[I 法科大学院]

(法曹養成プログラム修了予定者を対象とする特別選抜)

1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

法科大学院全体に要請されている社会的意義及び本法科大学院の教育目的・目標を達成するために、以下のような能力・背景を持つ入学者の受入れを本法科大学院の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）として掲げます。

(1) 推論能力や論理展開能力等、法学教育に必要となる基礎能力を備えている方

生の事実から法的に重要な事実を読み取り、そこから一定の結論を論理的に導いて行く能力は、法律家にとって何よりも必要なものです。こうした能力は、法科大学院の教育課程においても養われるべきものですが、一朝一夕に修得できるものではないため、限られた時間内で法曹を養成しなければならない現実を考慮すれば、入学以前より一定程度の水準に達していることが法科大学院の入学者にとって必要です。

(2) 「人間と社会に対する健全な関心と判断能力」を有する方

金沢大学法科大学院は、教育目標（1）において、「法そのものの知識を習得することと同時に、人や社会に対する深い洞察力を養うことで、地域社会の人の立場にたった法律家を養成する。」を掲げていますが、そのためには大学教育あるいは社会の実生活において、常日頃から人や社会に対して健全な関心を有していることが必要です。

(3) 様々なバックグラウンドを有する方

現在、法曹界においては、単なる法律の専門家ではなく、多様な知識を有する人材が求められており、そのことが法科大学院構想の重要な要素として認識されています。こうした現状に鑑み、金沢大学法科大学院においても、法学部出身者に限らず様々な専門的知識や多様な社会経験を有する人材を広く社会に求めることとします。

(4) 法律基本科目に対する基礎的な専門知識を有する方（短縮コース及び法曹養成プログラム修了者のみ）

短縮コース及び法曹養成プログラムからの入学者に関しては、その制度の趣旨からして、法律基本科目（いわゆる「実定法科目」）について、一定水準の専門知識を有していることが必要となります。

入学者の選抜に当たっては、標準コースにおいては法律学の知識を必要としない小論文の試験を課すことにより推論能力及び論理展開能力を評価するとともに（上記（1））、志願者全員に対して面接試験を行うことにより、様々なバックグラウンドを有する各志願者がこれまでの社会経験等により培った人間と社会に対する健全な関心と判断能力の有無を評価します（上記（2）及び（3））。短縮コースにおいては法律基本科目のうち基幹となる憲法、民法、刑法、商法の4科目につき基本的な知識を問う論述問題を課すことにより、法律基本科目に対する基礎的な専門知識と同時に推論・論理展開能力を評価します（上記（1）及び（4））。また、短縮コース志願者に対しても全員に面接試験を行うことにより、標準コース志願者と同様様々なバックグラウンドを有する各志願者がこれまでの社会経験等により培った人間と社会に対する健全な関心と判断能力の有無を評価します（上記（2）及び（3））。法曹養成プログラム修了者については、法曹養成プログラム対象科目においては論文式の定期試験が課されることに鑑み、法律基本科目に対する基礎的な専門知識及び推論・論理展開能力を有することを学士課程の成績により確認し（上記（1）及び（4））、面接試験により人間と社会に対する健全な関心と判断能力の有無を評価します（上記（2））。

2 募集人員

短縮コース 4名

※試験期日が同日である金沢大学法科大学院B日程入試（一般選抜）の短縮コースは併願できません。

3 出願資格

出願時に金沢大学法学類総合法学コース法曹養成プログラムを修了見込みであり、かつ、卒業見込みであること。

4 出願手続

(1) 出願期間

令和7年10月1日(水)～10月7日(火) 17:00

(Web出願システムは、令和7年9月24日(水)9:00から事前登録が可能)

出願書類は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に入れ、Web出願登録システムからA4サイズで印刷した宛名ラベルを貼付の上、提出してください。出願書類は、窓口での提出のみ受理します。出願期間の9:00から17:00までに提出してください。

(2) 出願方法及び出願書類の送付先

「Ⅱ（共通事項）1 出願手続」を確認してください。

(3) 出願に必要な書類等

出願書類等		提出該当者	摘要
Web出願システムから印刷するもの	① 出願確認票(提出用)	全員	Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷し、提出してください。「出願確認票(確認用)」とは異なるので注意してください。
	② 宛名ラベル	全員	Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷したものを送付用の封筒(封筒は、市販の角形2号封筒)に貼付けてください。
その他必要書類	③ 自己評価書	全員	自己評価書には、以下の内容を必ず記入してください。なお、作成に際しては、下記(注)の書式を厳守してください。 i) あなたは、法曹として必要な資質を何と考えるか。また、その理由は何か。 ii) あなたは、将来どのような法曹になりたいか。そのためには今後何をする必要があるか。 iii) あなたは、どのような理由で金沢大学法科大学院を選択するのか。 iv) 自己アピールしてください(これまでの自己の経験、学生生活、社会活動などに基づいて具体的に記入してください。)
	④ 卒業見込証明書	全員	10月1日(水)から証明書自動発行機で発行してください。

	⑤ 成績証明書	全 員	10月1日(水)から証明書自動発行機で発行してください。 令和7年度前期までの成績が記載されていない場合、受理されませんので注意してください。
--	---------	-----	--

(注) 自己評価書は、次の書式に基づいて、i) からiv) までの項目ごとに小見出しをつけて記入してください。書式が守られていない場合には、マイナス評価する場合があります。

パソコンで作成する場合は、A4用紙(1行40字×30行設定)2枚、2,000字から2,400字までで作成し、1枚目1行目の中央に「自己評価書」と記入し、2行目右揃えで氏名を記入して、3行目から書き始めてください。

手書きで作成する場合は、A4サイズの400字詰め原稿用紙(横書き)6枚以内2,000字から2,400字までで作成し、1枚目1行目の中央付近に「自己評価書」と記入し、2行目右端に氏名を記入して、3行目から書き始めてください。

(4) 受験票の印刷

詳細は、裏表紙の入試日程及び「Ⅱ(共通事項)2 受験票の印刷」を確認してください。

5 試験日程、選抜方法及び場所

(1) 面接日時 令和7年10月18日(土) 10:00

(2) 選抜方法

本法科大学院が実施する面接試験及び学士課程の全科目の成績(GPA)により総合的に判定します。

なお、後述のとおり試験期日が同日である本法科大学院B日程入試(一般選抜)の短縮コースとの併願も可能です。

試験科目	概 要	評 価
面接試験	自己評価書及び成績証明書をもとに実施します。	可否のみ判定

(3) 場所 金沢大学人間社会講義棟

(詳細は、出願手続後に送付する「受験上の注意」を確認してください。)

(4) 併願

試験期日が同日である金沢大学法科大学院B日程入試(一般選抜)の短縮コースは併願受験することができます。希望する場合は、出願システムより短縮コース(B日程併願)を選択してください。一般選抜の短縮コースの出願書類等や選抜方法等については、金沢大学法科大学院(一般選抜・社会人特別選抜)学生募集要項を確認ください。法曹養成プログラム修了予定者を対象とする金沢大学法科大学院特別選抜と出願書類等が重複するものについては、重ねて準備する必要はありません。

- ・法曹養成プログラム修了予定者を対象とする金沢大学法科大学院特別選抜と一般選抜短縮コース(B日程)の併願の場合、法曹養成プログラム修了予定者を対象とする金沢大学法科大学院特別選抜の面接試験、短縮コース試験の法律専門科目試験を受験します。
- ・入学検定料は法曹養成プログラム修了予定者を対象とする金沢大学法科大学院特別選抜を単願した場合と同じ30,000円です。

〔合否判定の優先順位〕

- ① 法曹養成プログラム修了予定者を対象とする金沢大学法科大学院特別選抜の合格者を判定
- ② 短縮コース合格者及び条件付合格者を判定
金沢大学法科大学院B日程入試（一般選抜）の短縮コースの判定にあたり、法曹養成プログラム修了予定者を対象とする金沢大学法科大学院特別選抜の選抜方法にある「学士課程の全科目の成績（GPA）」は一切考慮しません。

6 心身に障がいがある志願者等の事前相談

心身に障がいがあるため受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、令和7年8月21日（木）から27日（水）17：00までに、所定の書類を提出の上、相談してください。所定の書類は、「Ⅱ（共通事項）6 その他（2）障がいのある者等の事前相談」を確認してください。

7 合格者発表

令和7年11月6日（木） 16：00（予定）

合格者は、金沢大学法科大学院 Web サイト（<https://knzwls.w3.kanazawa-u.ac.jp/houmu/>）及びオンライン合否照会システム（<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/onlinegouhisyoukai>）において発表します。なお、電話等による合否の照会には応じません。



【合格の取消】

法曹養成プログラムの修了要件又は卒業要件を充足しなかった場合、合格を取り消します。

8 入学手続

「Ⅱ（共通事項）4 入学手続」を確認してください。

9 入学料及び授業料

「Ⅱ（共通事項）5 授業料等納付金」を確認してください。

なお、本選抜により合格し、本学大学院法学研究科法務専攻に入学する者につき、優秀な合格者と認定されたものについては、入学料・授業料（標準修業年限内に限る。原級留置により終了）を最大4名免除予定です。

10 追加合格

入学手続の結果、欠員が生じた場合には、「追加合格」を通知することがあります。

連絡は入学手続終了後、該当者の志願票記入の連絡先に電話で行います。志願者本人が確実に受信できるようにしておいてください。入学手続期間及び手続方法は、別途通知します。

[Ⅱ 共通事項]

1 出願手続

(1) 出願方法

① Web 出願の流れ



【注】 出願書類等の郵送については、「Ⅰ（各研究科／養護教諭特別別科）」を確認してください。

- Web 出願の詳細は、本学 Web サイトを確認してください。

本学（入試情報）Web サイト

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/admission-information/internet_entry



- Web 出願デモサイト

Web 出願を体験できるデモサイトを、本学 Web サイト（本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞入試情報（学士課程）＞Web 出願）に掲載しています。

<https://exam-entry-demo.52school.com/kanazawa-u/net/entry/1>



② Web 出願システムへ出願情報の入力・登録

Web 出願システムへは、本学（入試情報）Web サイト（本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞大学院進学＞Web 出願＞Web 出願システム）

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-kanazawa-u/>

からアクセスできます。



【注】 1 Web 出願システムには、出願期間内（事前登録期間を含む）のみアクセスすることができます。

2 出願の際に登録するメールアドレスは検定料の支払完了通知、出願後の各種連絡及び入学手続に関する連絡用に使いますので、必ず入学手続期間開始前まで受信可能なメールアドレスを登録してください。

3 <日本国外に在住している者>

Web 出願システムの「本人連絡先」には、日本国外の住所を入力できません。「海外連絡先」に入力してください。

③ 出願書類の送付先

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）（宛名ラベルに印字されています。）

(2) 入学検定料の支払

① 入学検定料

大学院：30,000円（別途、Web出願システム利用に係るサービス利用料990円）

養護教諭特別別科：8,300円（別途、Web出願システム利用に係るサービス利用料700円）

【注】1 学内進学者（本学の大学院博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き本学の博士後期課程に進学する者）及び国費外国人留学生（出願時に国費外国人留学生制度延長申請中の者を含む）は、入学検定料の支払は不要です。出願前に、「Ⅱ（共通事項）8 問合せ先」まで連絡してください。

2 法曹養成プログラム修了予定者を対象とする金沢大学法科大学院特別選抜により合格し、本学の大学院法学研究科法務専攻に入学した者につき、優秀な入学者と認定されたものについては、当該特別選抜の入学検定料を返付します。

② 支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM（Pay-easyでの支払）、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club）及びネットバンキング（PayPay銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。）のいずれかで支払可能です。

【注】1 支払を完了すると、出願情報の修正はできません。必ず支払前に入力した出願情報（特にメールアドレスや電話番号）に間違いがないか確認してください。

2 銀行窓口での支払はできません。

3 コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。

4 クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。

5 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。

ただし、入学検定料の支払後、出願しなかった場合は返還手続を行うことができますので、令和8（2026）年3月31日（火）までに手続きを行ってください。検定料返還手続方法は以下のWebサイトで確認してください。

本学（入試情報）Webサイト（本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞検定料免除・返還）

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan/



『自然災害により被災した志願者の検定料免除』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学のを確保するため、検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細は、本学 Web サイトを確認してください。

本学 Web サイト（本学トップページ＞入試情報・高大院接続＞検定料免除・返還

https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryo_henkan/

検定料の免除を希望する場合は、出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 E-mail：boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp



(3) 出願における注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は、出願を受理しません。
- ② 出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。
- ③ 出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ④ Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは、「完了」扱いとなりません。出願期間内に、証明写真のアップロード及び提出書類の郵送（出願期間内に必着）等を済ませ、内容に不備がなかった場合完了とします。なお、提出書類の確認は、出願期間後に実施します。

2 受験票の印刷

受験票は、Web出願システムの「申込確認画面」から印刷が可能です。印刷可能日は「表紙裏 入試日程」を確認してください。

- (1) 受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元バーコードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上、受験してください。
- (2) 氏名等に間違いがある場合には、「Ⅱ（共通事項）8 問合せ先」まで連絡してください。
- (3) 試験当日は、A4サイズで印刷した「受験票」を必ず持参してください。（オンライン入試の場合は、お手元にご準備ください。）
- (4) 受験番号は、入学手続にも必要です。それまで「受験票」は大切に保管してください。

3 受験における注意事項

- (1) 志望する研究科・専攻／養護教諭特別別科が課す、すべての教科・科目等を受験しなければ失格とします。
- (2) 受験のために渡日する必要がある場合、国によっては査証（ビザ）が必要になります。ビザの手続きは各自で行ってください。

4 入学手続

入学手続は、本学Webサイト上の「入学手続システム」から行います。詳細は以下のWebサイトに後日公表する入学手続要項を確認してください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/nyugakutetuzuki>



なお、海外在住の外国籍の者は、合格後に銀行口座残高証明書（残高100万円以上）の提出が求められます（在留資格認定証明書（COE）交付申請のため）。

合格者の区分	入学手続き期間
【大学院】10月入学	9月上旬
【大学院】 合格発表が1月までの4月入学	3月中旬
【大学院】 合格発表が2月・3月の4月入学	3月中旬
法科大学院A～C日程 法科大学院特別選抜	1月上旬
法科大学院単位認定試験合格者	3月中旬
養護教諭特別別科	3月上旬

5 授業料等納付金

（1）入学料

大学院	282,000円（予定）
養護教諭特別別科	58,400円（予定）

【注】1 本学大学院博士前期課程・修士課程修了後、引き続き博士後期課程に進学する者及び国費外国人留学生は、入学料の納入は不要です。

2 入学料の免除又は徴収猶予については、以下のWebサイトを確認してください。

https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/exemption_grace



（2）授業料

授業料の納入方法は、本学指定の金融機関が、学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」です。

口座振替等の手続き等の詳細は、後日公表する入学手続要項を確認してください。

	前期（第1・2クォーター）分	後期（第3・4クォーター）分
大学院（法科大学院を除く）	267,900円	267,900円
法科大学院	402,000円	402,000円
養護教諭特別別科	136,950円	136,950円

【注】1 上記の金額は予定額であり、入学時又は在学中に授業料を改定した場合には、改定時から新授業料額を適用します。

2 国費外国人留学生は、授業料の納入は不要です。

3 授業料免除については、以下のWebサイトで確認してください。

https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/tuition_waiver



(3) 本学が義務付けている学生保険

本学では、学生生活における事故に備え、学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）（外国人留学生は、学生教育研究災害傷害保険（学研災）及び外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険（インバウンド付帯学総））への加入を義務付けています。いずれの保険も、全国の大学・短期大学の学生を対象とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。未加入の場合、課外活動、教育実習、インターンシップ等を許可しないことがあります。

保険料の納付は、後日公表する入学手続要項を確認してください。

学 研 災：国内外において、①教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故、②通学中、学校施設等での移動中の事故によって身体に被る傷害（ケガ）に対して保険金が支払われます。

付帯賠償：国内外において、正課、学校行事、課外活動又はその往復において、他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対し保険金が支払われます。本学では、全学生（留学生を除く）に対し、付帯賠償と学研災の両方への加入が必須です。

外国人留学生は、付帯賠償への加入は不要ですが、代えてインバウンド付帯学総への加入が必須です。

なお、付帯賠償での「課外活動」は、大学がインターンシップ又はボランティア活動の実施を活動目的として承認した団体が行うインターンシップ又はボランティア活動のことをいいます。

課程等	保険料（予定）
修士課程及び博士前期課程 短期（１年）在学型制度	1,340円
修士課程、博士前期課程、教職大学院	2,430円
博士後期課程	3,620円
法科大学院（短縮コース）	5,030円
法科大学院（標準コース）	7,520円
養護教諭特別別科	1,340円

【注】 「教職大学院」は「教職実践研究科」を示します（以下同じ）。

6 その他

(1) 標準修業年限

修士課程及び博士前期課程 短期（1年）在学型制度	1年
修士課程※、博士前期課程※、教職大学院、法科大学院（短縮コース）	2年
博士後期課程※、法科大学院（標準コース）	3年
養護教諭特別別科	1年

※研究科で優れた研究業績を上げた者については、1年以上の在学で修了することが認められる場合があります（教職大学院及び法科大学院を除く）。

(2) 障がいのある者等の事前相談

心身に障がいがあるため、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、各研究科・専攻／養護教諭特別別科毎に定める期限（「Ⅰ（各研究科／別科）」の「障がいのある者等の事前相談」参照）までに次の書類を「Ⅱ（共通事項）8 問合せ先」まで提出し、相談してください。

ア 出願に伴う事前相談書（次の事項について記載したもの。様式は任意）

- ①氏名、住所、連絡先、志望コース・プログラム名
- ②障がいの種類・程度
- ③受験及び修学に配慮を希望する事項
- ④大学等（別科は、看護師養成機関及び高等学校等）で配慮されていた事項
- ⑤日常生活の状況
- ⑥その他参考となる事項

イ 医師の診断書（写しも可）

ウ その他の参考書類等（障害者手帳の写し等）

(3) 経済的支援

入学科免除、授業料減免、金沢大学独自の奨学金制度を含め、さまざまな経済的支援を用意しています。

金沢大学Webサイト>教育・学生支援・学生生活

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/>



①【外国人留学生対象】金沢大学独自の奨学金制度

金沢大学では、外国人留学生を対象として、奨学金制度を設けています。

詳しくは以下のWebサイトを確認してください。

金沢大学Webサイト>国際交流・留学>外国人留学生支援サイト>

授業料・経済的支援

<https://intl-support.w3.kanazawa-u.ac.jp/tuition/>



②【博士後期課程対象】金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe⁺)

金沢大学は、我が国そして世界の科学技術の進展及びイノベーションの創出の芽となり、未来社会の創造を担う卓越した博士人材を育成・輩出するため、志高い博士後期・博士課程学生への支援を強化しています。「博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe⁺)」において、博士人材としての活躍を後押ししており、経済的支援に加え、研究専念環境の充実、学際性・国際性の涵養、博士学位取得後のキャリア形成等に向けた支援を提供しています。以下は、本学が実施している博士人材育成事業です。

なお、いずれも我が国の科学技術の進展及びイノベーションの創出に向けた博士学生支援の一環として、国による機関支援を受けて実施している事業であり、事業期間の終了や制度変更により支援内容に変更が生じることがあります。

【給付型奨励金を伴う博士人材育成事業（令和7年度適用）】

			「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)	金沢大学 AI Open Science 基盤の 知識循環が可能にする 先駆的 AI クロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)
事業内容			研究支援・キャリア形成支援	AI 分野及び AI 分野における新興・融合領域（次世代 AI 分野）の人材育成及び先端的研究開発の推進
対象研究科			全研究科	全研究科
課程			博士後期・博士	博士後期・博士
募集定員			年度により異なる。 大学全体で 160 名前後を支援	2 名/年度
支援期間（原則）			博士後期課程又は博士課程（4 年制）の 標準修業年限内	博士後期課程又は博士課程（4 年制）の 標準修業年限内
経済的 支援 内容	博士後期・博士課程	奨励金/月	180,000 円	250,000 円
		研究費/年	400,000 円	900,000 円
	旅費等支援		独自支援有	独自支援有
	授業料免除		半額免除	半額免除
対象制限等			[次のいずれかに該当する者は申請対象外] ・日本学術振興会特別研究員（DC） ・国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生 ・母国の奨学金等の支援を受ける外国人留学生 ・奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者 [次に該当する社会人学生は申請対象外] ・所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240 万円/年）の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者 ・所属企業等から十分な生活費相当額（240 万円/年を基準とする）を受給可能な制度があるにもかかわらず、受給していない者 なお、上記の収入要件とは別に、選抜学生としての研究専念義務を果たし得ない、あるいは本事業におけるキャリア開発・育成コンテンツの取組に専念できる状況にないと判断される場合には、支援対象としない。 [外国人留学生] 本学大学院博士後期・博士課程修了後、3 年以上、日本の企業、大学、研究所等（在外の現地法人を含む）又は外資系企業の日本国内の事業所に就職することを誓約することが必要	

[HaKaSe⁺担当] 金沢大学学務部学務課 jisedai@adm.kanazawa-u.ac.jp
最新情報は HaKaSe⁺ Web サイトを確認してください。

<https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



(4) 【外国人留学生対象】外国人留学生の日本就職支援

本学では、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」として、日本での就職を目指す外国人留学生を対象に、ビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップ教育等のプログラムを提供しています。これらのプログラムを通じて、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成しています。

[問い合わせ先] 金沢大学学務部キャリア支援室「Link KAGAYAKI」事務局

TEL 076-264-6045 E-mail kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp

「Link KAGAYAKI」 Webサイト

<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/>



(5) 【大学院（教職大学院及び法科大学院を除く）対象】修了要件としての英語外部検定試験

各研究科では英語能力強化の一環として、原則、入学後に一定の基準（※1）を満たす英語の外部検定試験のスコアを取得することを修了要件の一つとしています。

ただし、以下のいずれかに該当する者は、英語検定試験の受験が免除されます。免除されるためには、「英語検定試験受験免除申請書」を提出し、審査を受ける必要があります。

受験料は学生の自己負担です。

- ①TOEIC(L&R)、TOEFL-iBT、TOEFL-ITP等一定以上の以上のスコア（※2）を持つ者
- ②社会人特別選抜又は短期（1年）在学型選抜により入学した者
- ③入学後、短期（1年）在学型制度適用者
- ④英語母語話者（一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者）
- ⑤法学研究科法学・政治学専攻英語による選抜試験により入学した者
- ⑥その他研究科長が特に認めた者

※1：TOEIC(L&R)600点相当

※2：TOEIC(L&R) 760点、TOEFL-iBT 80点、TOEFL-ITP 550点又はIELTS 6.0以上のスコアを持つ者

7 個人情報の保護

本学では、個人情報の保護に関する法律及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜、入学手続時及び入学後に取得するすべての個人情報は、次の業務等で利用します。

- (1) 入学選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料減免、授業料減免、奨学金手続等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入試改革・教育改革に資する目的で個人が特定できない形で行う統計処理、調査研究業務及び学術会議等での発表
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 卒業・修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) 本人保護等のための緊急対応に関する業務
- (10) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

8 問合せ先

金沢大学人間社会系事務部学生課（入試・学生募集担当）

〒920-1192 石川県金沢市角間町

電話 076-264-5600

E-mail n-nyusi@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学所在地略図



試験場(金沢大学角間キャンパス)へのアクセス

【路線バス利用の場合】

J R金沢駅兼六園口（東口）⑧乗場バスターミナルから
「金沢大学（角間）」行き（路線番号 93, 94, 97）乗車,
「金沢大学」（終点）下車, 徒歩 1 分（試験場までの所要時間は, 通常約 40 分）
※「金沢大学中央」で下車した場合は徒歩で 5 分程度かかります。

【タクシー利用の場合】

J R金沢駅兼六園口（東口）から通常約 30 分

【小松空港まで航空機を利用の場合】

小松空港－金沢駅連絡バスがあります。